

平成26年度 第2回 神林地区地域審議会 会議録

1. 開催日時 平成26年10月2日(木) 13:00～14:10
2. 開催場所 神林支所 3階第4・5会議室
3. 出席委員 大嶋芳美、佐藤巧、伊與部眞士、竹内友二、阿部元広
木村和春、坂上孝雄、遠山千賀子、大矢友子、野澤十治
4. 欠席委員 渡辺優子、齋藤三七夫
5. 出席職員 鈴木神林支所長
(事務局) 自治振興室；山田室長、木村係長、磯部係長、田村主査、佐藤主査
6. 傍聴者 なし
7. 会議次第 別紙のとおり
8. 会議経過 別紙のとおり

平成 26 年度 第 2 回神林地区地域審議会 会議次第

日 時：平成 26 年 10 月 2 日(木)

午後 1 時 3 0 分～

場 所：神林支所 3 階第 4・5 会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 事

(1) 神林地域活性化推進事業について

資料 1

(2) 神林地区紹介マップについて

資料 2

4 その他

5 閉 会

会 議 経 過

1 開会 (13 : 30)

事 務 局 ; 定刻となりましたので、只今から平成26年度第2回神林地区地域審議会を開催します。開会にあたり大嶋会長より、ご挨拶申し上げます。

2 会長あいさつ

会 長 ; 本日はお忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。本日は、第2回目の審議会ということで、地域活性化推進事業、神林地区紹介マップについてご審議いただきたいと思っております。よろしくお願い致します。

3 議事

(1) 神林地域活性化推進事業について

会 長 ; それでは、議事に入ります。議事の(1)神林地域活性化推進事業について、事務局から説明をお願いします。

事 務 局 ; それでは、神林地域活性化推進事業についてご説明いたします。はじめに、この事業の経緯を説明させていただきます。この事業につきましては、「神林を知らせる、知ってもらおう」というテーマに基づいて、地域の特色を活かし、活性化に結びつく事業を実施するために、地域で活発な活動を行なっている団体の方にお集まりいただき、ご意見に基づいて活性化事業を計画しようというものです。

資料1-1、1-2、1-3、1-4により、地域活性化推進事業意見交換会について説明いたします。

【地域活性化推進事業意見交換会について説明】

会 長 ; ただ今、事務局より地域活性化推進事業意見交換会についての報告がありました。質問はありますか。

委 員 ; 大変良い計画を立てておられますが、これは来年一年度きりの計画ですか。それとも継続していく計画ですか。

事 務 局 ; この事業は、神林地区をPRするために、先ず神林地区を知っていただき、それから神林地区以外の方々に知っていただくというものです。

今年度から新たに委員になられた方もいらっしゃいますので、今一度、地域活性化推進事業について説明させていただきます。

【地域活性化推進事業について説明】

会 長 ; ほかにご質問はありますか。

委 員 ; はい、この3つの事業計画書についてお聞かせください。このA班の計画書ですが、受益者はだれになるのでしょうか。そして、その費用はだれが負担するのか。一日コースとして計画しておりますが、この事業に来たいと思う人の負担額はどのくらいになるのか、どのような形を考えていますか。B班の計画もそうですが、だれが受益者になるのか。集落なのか来てくれた人に集落がお金をはらうのかどうか。それから、カワニナやホテルというのは一過性の取り

組みではないでしょうか。その一過性の事業に対して、費用対効果を考えたときにどうなのだろうかということです。C班の計画書の目的については、何のために知ってもらおうということなのか。売るためなのか、来てお金を使ってもらおうために知ってもらいたいのか。だれがこの計画を運営してくれるのか。会場については、パルパーク神林総合運動公園とありますが、指定管理者がすることではないのでしょうか。

一番大事なことは、やりたい人とこれからやろうとしている人では大きな違いがあるので、現在熱心な取り組みを行なっている人達を応援の方がよいのではないかと思います。やりたいと思う人が、あんなふうになるのならやってみよう、という形が必要なのではないかと思います。これを見ていると「思い」だけで活動しようとしているようです。「思い」だけでは成功しませんので、実行するという強い意志が必要であると思います。お金があるときはよいのですが、お金が無くなったときすぐやめてしまう。その辺のところを検討していただければと思います。

事務局； ただ今、ご指摘を受けた部分につきましては、これからも話し合われますし、今回は3つの事業計画が提案されましたが、この3つの提案事業以外にも意見が出てくるかもしれません。そして、誰をターゲットにし、どのように集めて費用はどのようにするのかという細かなことの話し合いを行い、ご指摘を受けた部分についても踏み込みながら事業の検討を行なっていきたいと考えております。意見交換会は1時間半ほどの短い時間ですので、どこまで決めることできるか分かりませんが、提案された3つの事業を検討していただき、次回の地域審議会で見聞を伺いたいと思います。

委員； 今回の審議会の中で、このような意見が出たということ、意見交換会する前にお知らせすることが事業計画の検討材料になると思います。

委員； 意見ということで聞いていただきたいのですが、神林フェスは、開催時期が秋頃となっております。休日に実施することになると思いますが、秋はさまざまなイベントが多いので、よそからの情報を入れながら重ならないようにしなければ、秋の実施はとても無理ではないかと思います。

事務局； ただ今のご意見につきましても、提案された事業が具体的にどのようなかまだ決まっておられませんので、スケジュールを調整して進めさせていただきたいと思います。

会長； ほかにございませんか。

委員； 先ほどの説明で、平成28年度の予算執行を目標にこの計画を立てているとのことでしたが、この資料の共感という3つのキーワードを考えた場合に、事業の継続がないとこの共感を得ることは無理だと思います。まちづくりが始まって3年が経ちましたが、3年間行なっても、まだそこまで到達していません。もし、事業を行なうのであれば、継続的に実施するような方法で考えていただきたいと思います。

事務局； ただ今、いただきましたご意見につきましても、おっしゃるとおりと考えております。継続的に行なうことによって地域のつながり、神林のつながりが出

来てくると思いますので、その方向で検討させていただきたいと思います。

会 長； ほかに無いようでしたら、次の議題に入りたいと思います。

(2) 神林地区紹介マップについて

会 長； それでは、(2) 神林地区紹介マップについて事務局から説明をお願いします。

事 務 局； 資料2をもとに説明いたします。

【神林地区紹介マップ作成の目的について説明】

【追加資料としてマップの原案を配布】

会 長； 事務局から神林紹介マップについて説明がありましたが、ご質問はありませんか。

委 員； 「神林を知らせる、知ってもらおう」という目的ですが、だれに知ってもらおうということですか。神林地区の人に知ってもらおうのですか、外部の人に知ってもらおうのですか。それからマップには各集落名が載っておりますので、集落の人達がこの季節にはここを見て欲しいということを書いてもらう形の方が良いと思います。また、データで保存して、歴史を知りたいというマニアックな人が情報を取り出せるようにした方が良いと思います。できたら、ホームページから興味のあるデータを取り出せるような形を考えていただきたいと思います。マニアックなもので人を呼ぶようなことがあっても良いと思います。一般の人に渡しても見てもらえないのではないかと思いますので、市のホームページを利用しながら考えてもらいたいと思います。

委 員； 今の意見についてですが、最初にマップ作りをするという提案の時には、神林のことを内外にお知らせするという事だったと思います。なので、パソコンを扱える人はホームページから見れば良いのですが、やはり、お年寄りとか日常に知らない方もいらっしゃいますし、市外の人もそのようなマップがあれば手に取ると思います。

委 員； 私もマップは必要だと思います。道の駅にマップがあるというのは良いと思います。ただ、誰にやるかわかりませんが、これを家庭に配布したとしたら、半分くらいはごみ箱行きになるのではないかと予想されるということです。

委 員； 例えば、半分くらいごみ箱に行くことになるとしても、私は仕方がないと思います。やはり、神林を広く皆さんに知ってもらうためには、捨てるのも覚悟で、1人にでも知ってもらえれば、意義があるのではないかと思います。

会 長； これは全戸に配布するものですか。

事 務 局； このマップは、コンビニや道の駅などにある程度の部数を置いて無くなったら補充するという事を考えております。

委 員； このマップは、だれを対象に見せるものなのですか。

事 務 局； 基本的にだれを対象にするのかと言えば、地区外から車で来た人達を対象に出したいと考えております。

委 員； 私は、だれを対象にするのかを明確に想定していなければならないということと言いたかったのです。住民を対象としているのかと思っていました。

事 務 局； 説明不足で申し訳ありません。神林地区にはこのようなマップがありません。

水辺の楽校はどこにあるのかは知られていても、どんな桜が咲いているのか、そこしか桜の名所は無いのか、そういった情報を載せることによって見に来てもらえるのではないかと考えております。

委員； そういうことであれば、効果はあると思います。

委員； 最初の話から少しずつ拡大していったのだらうと思うのですが、道の駅には、神林地区の人も地区外の人もいます。そういう人たちに神林の中身を分かってもらおうということだと思います。大きさはどれくらいを想定していますか。

事務局； このA3を折ってケースなどに置いてもらおうと思っております。

委員； 福島、長野、新潟でも、道の駅にはマップは必ずあります。私は、このA3の2倍くらいの大きさのマップに写真と紹介を織り込む形にした方が良いと思います。また、神林の特産を載せるにしても商工会を通して偏りの無いように配慮する必要があると思います。もう一つは、知らない人が問い合わせるための連絡先、問い合わせ先を明記することが大切だと思います。マップの原案はこれで良いと思いますが、集落の紹介も入れてほしいと思います。この図面の大きさがこのままであれば、集落名が分かるよう囲み等を入れて分かりやすく表示して欲しいという感想を持ちました。A3が2枚なのですか。

事務局； これはA3を二つ折りにして置いてもらうことを考えております。

委員； 私はA3が2枚のA2の方が、見る側としても情報量が多く良いと思います。

事務局； A2になりますとプリントする機械もありませんので業者発注になってしまいます。事務局の発想としては、神林支所の自治振興室で編集することにより、季節ごとに新しいマップを出せるという考えです。支所ではA3しか印刷できませんのでA3でお願いしたいと思います。

委員； はい、わかりました。

委員； A3の限られた大きさの中で無理かとは思いますが、写真などは入りますか。写真が入るとかなりPRになるとは思いますがいかがでしょうか。

事務局； 写真は載せていきたいと考えております。基本はこの原図となりますが、お知らせしたいものによって変えていきたいと考えております。例えば、田植えが終わった風景、夏の鮎釣りの風景などを載せようと考えております。

委員； そうすると四季に応じて変化していくということですか。

事務局； 自治振興室で常に新しい情報に更新し、マップを置いてもらうことを考えております。

委員； 文字は小さくなくてよいと思いますが、写真は大きくしてください。

委員； マップの日東道の表記で、至山形となっておりますが、至酒田か鶴岡ですので訂正をお願いします。

委員； 集落の情報については、集落が載せてほしいという情報を問い合わせた方が良いと思います。

事務局； ただ今の委員のご意見につきましては、このマップの完成後、ほかにもお知らせしたいことが無いか区長にお聞きしたいと思います。

委員； 集落の情報の字句については、集落の方に書いてもらった方が良いと思います。

委員； 河川の名前が載っていませんので載せてください。

事務局； はい。わかりました。

委員； 以前にもお伺いしましたが、このマップはもっと簡略化してイラスト的にはなりませんか。

事務局； この原図をもとにマップを完成させたのちに対応していきたいと思います。

委員； このマップの白鳥の飛来地にイラストを入れたいのですがどうでしょうか。

事務局； はい、入れたいと思います。

会長； ほかにございませんか。それでは、マップにつきましては説明を入れていただき、地域活性化推進事業については事業計画の詳細を次回の審議会で報告していただきたいと思います。

4 その他

会長； その他ということで、事務局から何かありますか。

事務局； 地域審議会のテーマではございませんが、岩船町駅の百周年記念事業が、11月1日に実施できる運びとなりましたことをご報告させていただきます。

会長； ほかにありませんか。無ければ、これで第2回目の地域審議会を終わります。

副会長； 慎重審議をいただき、ありがとうございます。今日は様々なご意見いただきましたので、事務局は次回に反映させていただきたいと思います。本日はこれで終わります。ありがとうございます。

5 閉会 (14:10)